

気まぐれ通信

2025-10-09

こんにちは！気まぐれ通信のページをご覧ください、ありがとうございます。
今回は、モンゴルの放送局によるサポート隊取材の様子をご紹介します。



モンゴルの全国ネット放送局（UBS TV）が、6月30日にサポート隊を取材に来て
くださいました。テーマは『森を守り育てる精神』です。



こちらはコーディネーターの平下さん。
モンゴルの放送局とサポート隊をつないでくださいました。



サポート隊活動の朝礼で、メンバーの皆さんにご挨拶をいただいているところです。



☆今回の取材の要旨は…

「2025年7月上旬の天皇皇后両陛下のモンゴル国訪問に先駆け、日本国外務省の『日本特集番組制作支援事業』の支援を受け、日本人の国民性と日本文化を取材し、それをモンゴル国民に伝える番組を制作」してくださるとのことでした。



番組の総合テーマは、日本の「ものづくりの精神」で、養蚕と織物、輪島塗、和食…とある中で、ボランティアが創り守る森林「東京都内の森を守る」としてサポート隊の取材にいらっしゃいました。

ヘルメットをかぶっている男性が、
レポーターのトゥムルバートルさん

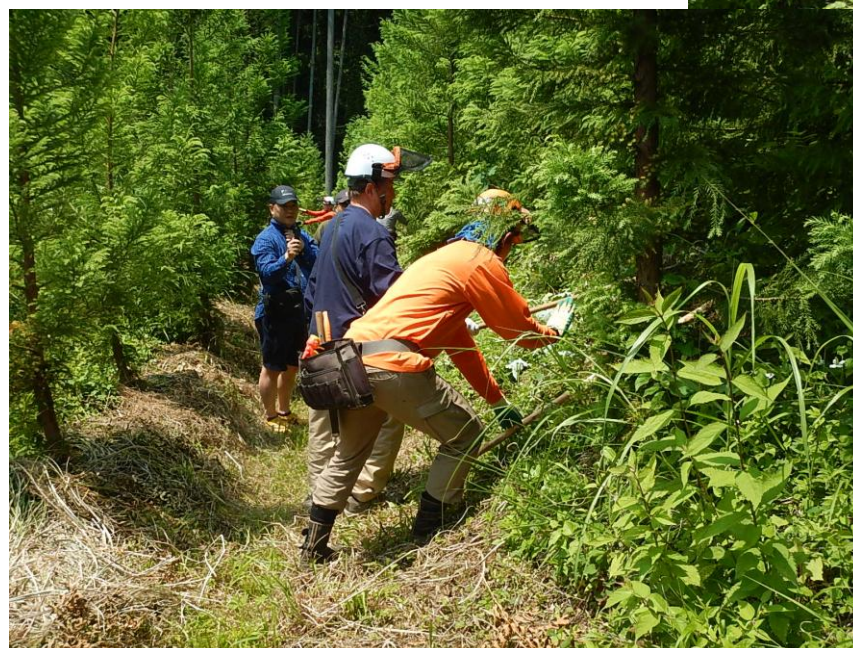


レポーターのトゥムルバートルさんは、取材の動機と背景について、このような説明を示してくださいました。

『今、モンゴルでは大統領の提唱で「10億本の植樹計画」が実行中ですが、植樹しても育たなければ意味がありません。今こそモンゴル人は、日本から樹木や森と生きる共存精神を学ばなければならないと思います。森は、水や空気を浄化させ自然資源を守ります。ものをつくるにのほ、森の力が必要だと思います』



取材・撮影はよく晴れた日に青梅市の活動地で行われました。



メンバーの方や財団森の事業課の課長にインタビューをし、普段通りの活動の様子を撮影していました。

☆編集後記

トゥムルバートルさんの取材には、当日参加していた何人かのメンバーさんにもご対応いただきました。事務局では、実際にモンゴルで放送された映像を拝見したのですが、皆さんとても熱心にサポート隊活動への思いを語ってくださっていました。HPをご覧の皆さんに、その映像をお見せすることはかなわず残念ですが、この記事で少しでも取材の様子がお伝えできればと思います。

